

福井市安居小学校 令和2年度 教育活動に関するアンケート

集計結果と考察

コロナ禍の中、計画されていた教育活動が思うように行えず、子供達にどのような影響が出るか心配をしていましたが、前向きにとらえる児童が多く、保護者の方にはご心配やご負担をかける部分もありましたが、アンケート結果を来年度に活かせるよう、さらに工夫をして教職員が一丸となり、子供達のために取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

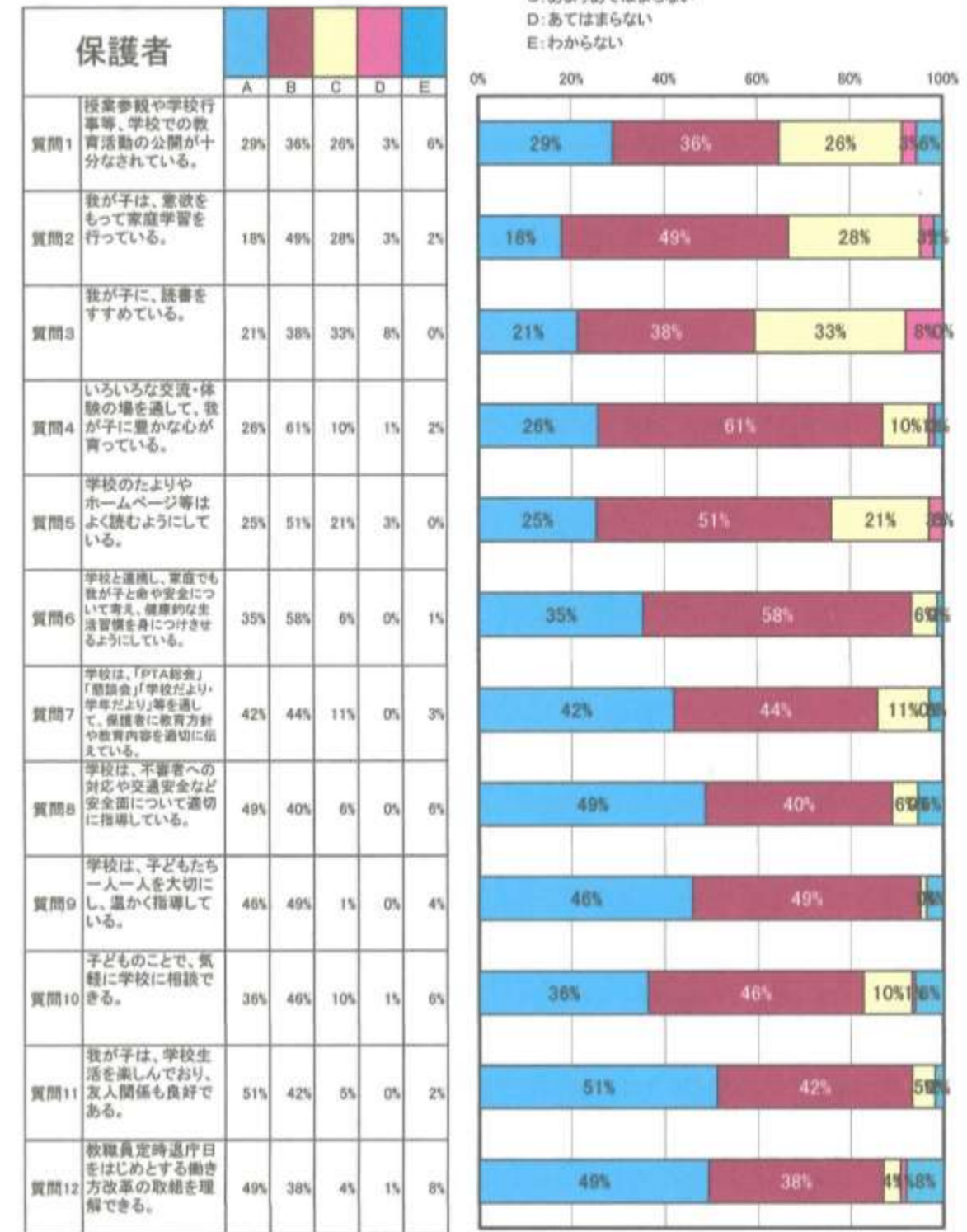
児童アンケート結果(3~6年生)



【児童アンケートから見えてくる成果と課題】

「いろいろな交流・体験活動が楽しかった」などの項目で肯定的回答の割合が97%を越えており、感染症対策を講じている中でも様々な活動に積極的に取り組んでいることがうかがえます。また、「自分の考えや意見・感想などを書いたり伝えたりしている」「自分には、よいところがあると思う」の項目について肯定的回答の割合が75%程度と高い割合とは言えませんが、交流的な活動が制限されている中、自分と向き合う活動が増え、落ち着いた雰囲気ですらに取り組むことで一定の成果が出ています。今後は、ペアやグループでの伝え合い、ノートを通しての伝え合い活動、朝や帰りの会でのお話タイム等の活動に取り組んでいくことで自己肯定感を高めていきたいと思っております。

令和2年度教育活動に関するアンケート



保護者アンケート結果(全学年)

【保護者アンケートから見えてくる成果と課題】

「学校と連携し、家庭でも我が子と命や安全について考え、健康的な生活習慣を身につけさせるようにしている」について、新型コロナウイルス感染症対策をお便りやメール、ホームページ等で度々呼びかけており、肯定的回答の割合が93%と安心できる結果となっています。また、「我が子は、意欲をもって家庭学習を行っている」の肯定的回答の割合が67%と低い数値を示し、学習に対する意欲や家庭での学習の取組について、家庭との連携を取りながら学習意欲を高めるための工夫を考えていきたいと思っております。